

道央都市圏都市交通調査協議会 第2回協議会・第2回幹事会(合同開催)
議事概要

日時:令和7年4月25日(金)9時30分～11時30分

場所:北海道自治労会館5F 大ホール

《資料3》

■ 事務局による説明(資料3)

※配布資料をもとに第1回協議会(第1回幹事会)で出された意見への対応状況を報告し、活動把握調査の意義や、調査票配布スケジュールについて委員と共有した。そのうえで以下についての議論がなされた。

■ 意見交換(資料3)

- サポートセンターの電話問い合わせ対応時間が平日の9:00～17:00となっているが、時間外はSNSやチャット機能を活用するなど、平日の日中に問い合わせができない調査対象者への対応を検討されたい。
- 挨拶状にインターネットの回答が便利なことを記載し、誘導できると良い。
- 人流データなどビッグデータと組み合わせることを見据えて、住民基本台帳の抽出データの条丁目を整理しておくが良い。
- 後半の調査や予備ロットの調査は不足している属性のアンケートを増やすことで、調査全体の精度を上げることが可能と考えられる。道央都市圏でも検討されたい。
- インセンティブは使い勝手の良いもので、かつ金額的にもある程度上げないと回答のモチベーションにはならない。

《調査票》

■ 事務局による説明(調査票)

※調査票確定に向け、委員間において議論がなされた。

■ 意見交換(調査票)

個人票

- 自宅に居ながら仕事をしている方やコワーキングスペースを使用しているなど、職場に通勤して仕事をしている方と明確に分けて分析できるようにした方が良い。
- 交通手段でタクシー・ハイヤー、シェアサイクルやライドシェアを選択した際に出発地や到着地をどう回答すればよいか悩ましいので、調査対象者が苦慮しないような工夫をした方が良い。

意識調査票

- 公共交通の顕在化した課題は捉えられるが、困っているからこそ利用できないような潜在的な需要が拾えるような工夫ができると良い。
- 防災への意識に関して、建築物の耐震性を回答の選択肢に加えると良い。
- 大雪時に道路の予防的通行止めに対する意識を調査することに加えて、公共交通の計画運休に対する意識を調査すると良いのではないか。
- 意識調査票の「まちなか」という言葉は調査対象者によって受け止めがばらつく可能性が高いので、誤解のないような表現を検討した方が良い。

その他、調査票のレイアウトや設問の文言に関する修正意見があった。
事務局において修正を検討し、内容の確認は座長に一任することとなった。

以上